

「6月はロータリー親睦活動月間です」

国際ロータリー第2660地区

ガバナー **横山 守雄**

RIが6月を親睦活動月間と定めたのは、世界中のロータリアンが、例えば、無線ハムの資格と趣味を持つグループであるとか、ゴルフ愛好者グループであるとか、同じ趣味を持ったロータリアンと家族が、国際的なグループ活動を通じて、国際交流と親善を深めて行きましょう、そしてまた会員維持を図って行きましょう、という目的でこの月間が設けられました。現在、世界的に活動しているRIの趣味グループは80ほど登録されているそうです。

一方、ロータリー章典によりますと、地区ガバナーは地区内クラブ間の親睦活動、或いは他地区との、或いはまた国際間の親睦活動を、各クラブと各会員へ推奨するように要請されております。地区内クラブ間の親睦活動の実例としては、当地区ではガバナー杯争奪野球大会があります。本年度は10クラブの野球チームが参加されましたが、各クラブのプレイヤーはもとより、観戦された会員とご家族の皆様がインタークラブ間の野球試合を大いに楽しんでおられました。この様な親睦活動がクラブの活性化に大変役立っています。

月信5月号でご紹介致しましたように、今ロータリーでは「クラブを超えた活動」が注目されております。私たちロータリアンの活

動が、クラブ内だけの活動に留まらず、地区内クラブ間の、全国クラブ間の、或いは世界のクラブ間の活動へとロータリーの活動の輪が一層広がって行くことが、クラブの更なる発展に繋がります。その点、親睦グループの活動は、それぞれが自分たちの趣味を通じての活動がベースになりますから、大変入りやすい道筋になります。

ところで、ロータリーの「中核となる価値観」5項目の中の一つが「親睦」です。ロータリアンにとって「親睦」と「奉仕」はロータリークラブの活動を推進する両輪だとよく言われておりますが、ロータリーから会員間の「親睦」という要素がなくなると、ロータリーという組織は世の中に無数に存在する単なる奉仕団体の一つにしかなり得ません。しかし一般社会では、ロータリーは親睦団体だと思っている方が結構いらっしゃいます。会員の中にも親睦活動には参加するが、奉仕活動には参加しないという会員もいらっしゃいます。「親睦」と「奉仕」の両方の活動にバランス良く取組んでおられる会員が、本当の「ロータリアン」と呼ばれるに相応しい方ではないかと思えます。私たちロータリアンは「親睦」と「奉仕」の活動に日頃からバランスよく取組んでいるかどうか、この月間にあたりあらためて考えてみたいものです。